

小川内水排除施設の増設ポンプを見学して

木津町区自主防災会相談役、防災士リーダー

駒井 幸夫

5月25日、小川内水排除施設の増設ポンプ施設の見学をしてきました。

長年の木津町区懸案事項として木津川市に要望してきた内水排水ポンプ増設による排水能力アップ案件がやっと達成できたことに感慨深いものがあります。



木津町区における内水水害を振り返ってみますと、2013年（平成25年9月16日）故前部区長の時に台風18号（最大時間雨量：21mm、累加雨量：148mm）により、木津町区低地帯での床上床下浸水、農業機械小屋の浸水等の水害被害が発生し、大変困惑されていた区長の様子が鮮明に浮かんできました。



※被害を受けた区域の住民、区役員と木津川市間での会合記録、要望書



その後、排水ポンプが増設（160 t/min）されましたが2017年（平成29年10月21日）元松田区長の時に台風21号（最大時間雨量：20mm、累加雨量：171mm）により木津町区域の城西町、コンフォート神田、不二荘園の低地帯で反田川からの逆流により床下浸水が発生しました。

当時の故片山不二荘園自治会長をはじめ木津町区役員、被害住民が木津川市に対して要望書を提出するとともに会合をもちました。

※不二荘園自治会要望書、会合記録録。



市側もこの要望により早期に実施できる反田川逆流防止ゲート（2020年3月末完成）と反田川から井関川への放水設備の設置をしました。

木津町区の一取り組みとして大雨による水害に対して区住民の意識を高めるとともに木津町区域がどのようにして水害から守られているかを知ってもらうために当時の建設部の河合理事、危機管理課の岩本担当課長の協力を得て2020年10月18日コロナ禍の最中に「木津町区を取り巻く河川と治水設備の見学」のハイキングをおこないました。

その後も関係組織の協力を得て鹿川の雑木伐採、まるごとまちごとハザードマップの高度化、地域タイムラインの作成、恒例となっている自主防災大会、自主防災研修と訓練等々安心安全な地域を目標に活動してきた結果の成果の一つとして今回の増設ポンプ設置の一翼を担ったと勝手に理解しています。

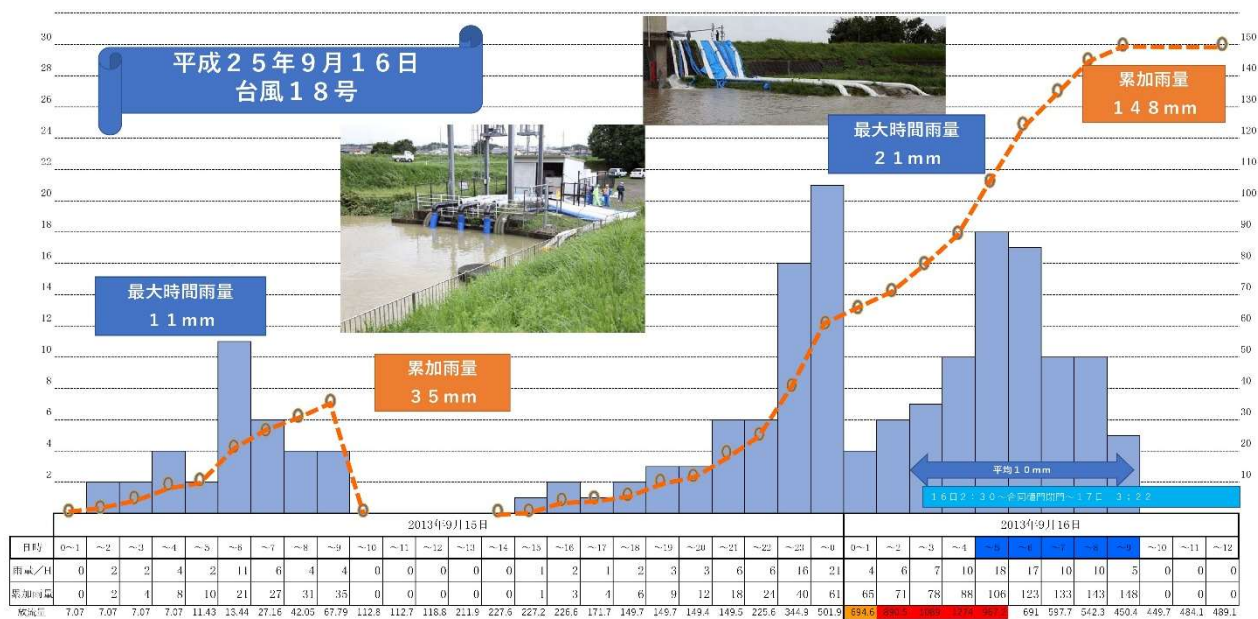
その背景には先輩たちのご苦労があつてのことだと有難く思っています。

—以上—

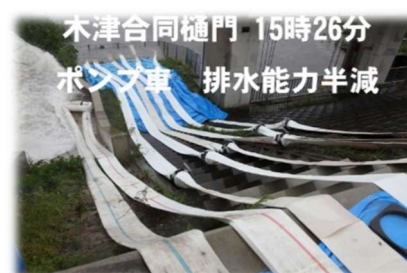
■台風 18 号



台風18号の雨量



■台風 21 号



台風21号の雨量

